



勝木 俊介 (33歳)  
株式会社 佐々波鮎網  
漁師歴10年

**この時期、捕りたい魚は？**  
**勝木** この魚を捕りたいと思っても、なかなか思うようにはいかないのが定置網漁。今の時期でいえばサワラがおつてくれんかなあと思う。サワラは、個体が大きくなって、選別も含め、出荷までの仕事がスムーズにできる。  
**坂本** 僕らの漁場は、春先の漁獲量が多いか少ないかで、一年の収益が決まるもんで。  
**順毛** 今は、だんだん捕れなくなっているけれど、アジがいいかな。春先の魚が入ってくればうれしいね。



行長 聖 (33歳)  
寒鮎大敷網 株式会社  
漁師歴13年

**レナリンが出まくりやね。**  
**平野** そやな。あとは、台風が通った後の急潮が大変。潮の流れが速くなって、網を傷める原因の一つ。海が川みたいになれんわ。  
**これまでに捕れた珍しい魚は？**  
**行長** リユウゲウノツカイは、今年2回捕ったよ。  
**平野** へえ。うちは、ダイオウイカを3回くらい捕ったな。  
**坂本** 俺のところは、時々、何百というイルカの群れを見ることがある。見渡す限りのイルカ。  
**勝木** 水族館にいれば、可愛いけど、網に入っても売りものにならないので勘弁してほしい。  
**平野** そやな。あと、サメやマンボウも大変やな。サメは回転して、網を破る。そこだけ、ねじ切れたようになって、修理が大変になれんわ。  
**勝木** 3メートルくらいいのサメなら、さらに網にかかるな。  
**順毛** あと、約10メートルのナガスクジラが捕れたことが



坂本 祐樹 (36歳)  
緩目大敷網 株式会社  
漁師歴14年

**漁師の勤務時間は？**  
**勝木** 3時45分出航して、勤務終わりが11時くらい。  
**行長** うちの、3時半から11時半くらいかな。  
**平野** 俺のところは、4時から11時くらいやわ。  
**順毛** 僕のところは、3時から13時くらい。僕らは、水見の市場まで少し遠いから逆算して、他より早くしとるわ。  
**坂本** 俺のところも、3時から。漁から帰って、出荷とか網の修理して、終わるのが14時くらいかな。  
**漁師としての誇りや信念は？**  
**順毛** 僕は、子どもに見せても恥ずかしくない仕事をしよう、毎日心掛けてる。



順毛 弘英 (33歳)  
株式会社 鹿渡島定置  
漁師歴10年

**漁師としての今後の目標は？**  
**行長** ブリ1万本捕る！そのために、網を改良するとかやれることはやっていきたい。もし息子が漁師になったら、親子で漁や魚の話をしたら



平野 晋嗣 (33歳)  
岸端定置網組合  
漁師歴15年

「今日、こんな捕れたよ。お父さんのところどうやった」という会話もしてみたい。  
**平野** 子どもを一人前に育てるためにも、漁師という仕事を一生懸命やりたい。  
**順毛** 漁師になりたい若者に、「鹿渡島に入ってみよう」と言ってもらえるような、会社でありたい。  
**坂本** 多方面への販路の拡大と、いろんな方法で、皆さんに食べていただくというのが目標。少しずつだけど、付加価値を高めていければと思う。  
**坂本** 魚だけ捕ってれば良いという時代じゃなくなっている。難しいところだと思ってる。可能性は十分にあると思うので、今できることをしっかりとやっていきたい。



### 新鮮でうまい魚を届けたい…

# 若手漁師奮闘記

現在、そしてこれからの「いきいき七尾魚」を支える若手漁師5人が一堂に会し、座談会を開催。それぞれ、異なる定置網の会社で活躍する5人からは、漁師だからこそ知っている裏話や、胸に秘める思いも語られた。

#### 漁師になっただけは？

**勝木** 父が漁師で、小さい頃から「漁師になれよ」と言われていた。そこまで深く考えたことはなかったけれど、魚を食べることは大好きだった。東京の大学に在学中、魚があまりおいしくなかった。その時、七尾の魚は本当においしいんだと気づき、漁師をすれば、おいしい魚が食べられると思った。あと、小さい頃から地元漁師たちが魚を捕る姿を見ていたので、育った環境がそうさせたのかもしれない。  
**行長** 高校を卒業した時、朝が早くて、厳しい漁師をするつもりはなく、サラリーマン

を2年くらいやってた。家から漁師の会社が近くて、時々、手伝いをしてるうちに、漁師の世界にのめり込み、だんだん好きになっていった。勝木さんと一緒に、生まれ育った環境がそうさせたんだと思う。

#### 高校卒業後、自衛隊に入隊していた。任期が終わり、地元に戻った時、知り合いから「手伝いに来んか」と声が掛かり、今の会社に。最初は、仕事を探す間だけという考えだったけど、初めて船に乗った時、意味が分からんくらい魚がおつて「ガンド2本、持ってけや」と、もらったのを覚えてる。そこから、自然に年月を重ねるに至っている。

**順毛** 僕は、釣りが趣味で、同級生が鹿渡島定置で働いてたこともあって、よく遊びに行っていた。「人おらんし、働いてみれば」と声が掛かったけれど、別の仕事もしていたし、家族もいたので断った。そ

あつて、めちゃくちゃびっくりしたわ。  
**漁師の勤務時間は？**  
**勝木** 3時45分出航して、勤務終わりが11時くらい。  
**行長** うちの、3時半から11時半くらいかな。  
**平野** 俺のところは、4時から11時くらいやわ。  
**順毛** 僕のところは、3時から13時くらい。僕らは、水見の市場まで少し遠いから逆算して、他より早くしとるわ。  
**坂本** 俺のところも、3時から。漁から帰って、出荷とか網の修理して、終わるのが14時くらいかな。  
**漁師としての誇りや信念は？**  
**順毛** 僕は、子どもに見せても恥ずかしくない仕事をしよう、毎日心掛けてる。

れからも、熱心に誘われたけれど、家族を養っていくためにも、自分だけ好きなことをしてはいけないと思って断り続けた。けれど、嫁から「気になるなら、行けば？嫌やったら辞めればいいし」と言われ、漁師になることを決意して入社した。中能登町出身で、海のそばに育っていない僕からすれば、漁師は一人相伝のイメージがあつて、不安もあつたけれど、ここまでくることができた。

**平野** じいちゃんが定置網に行っていて、小さい頃から新鮮な魚を食べていた。父親も岸端に勤めていて、「どうや？」と声を掛けられ、心を動かされ漁師になることを決意した。親子で漁師をやることに、やりにくい部分もあつたが、ここまで続けてこれた。

**漁師になつて良かったこと。大変なこと。**  
**行長** 屋根がある仕事より、

自然の中で、開放的に仕事ができるのがいい。伸び伸びと仕事ができるから、ストレスもあまり感じない。  
**順毛** やりがいを感じるのには、お客さんからの「ありがとう」の声。個人的には、「鹿渡島さんの魚おいしいよ」と言われることが、とてもうれしい。また、頑張ろうと思う。

**坂本** 俺は、朝、魚を捕りに行く時がわくわくして楽しい。毎日捕れるものが違うという点も良い。  
**順毛** 良いこともあるけど、大変なことも多いね。しけた時は、船に乗っただけでも大変で、普段、簡単にできることも、一苦労する。そんな危険な状況でも出港するのが、漁師の仕事。

**勝木** 本当に荒れてる時は、作業が大変だよ。こんな時、漁師でも船酔いするところだけど、そんなことを言っていられないよね。酔つとるところじゃないし、それこそ、アド